

首都圏中央連絡自動車道 坂東PA（外回り）工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	2-(2)道路掘削 土砂A 2-(3)客土掘削 土砂A 2-(4)客土掘削 土砂B	特記仕様書24-2-1「道路掘削、客土掘削、捨土掘削」の、含水比調整とありますが、設計の添加量、添加材の種別及び施工方法(バックホウ混合もしくは土質改良機による混合など)をご教示願います。	貴社の施工計画に基づきお考え下さい。
2	2-(5)盛土工 盛土工A	特記仕様書24-2-2「盛土工」について、購入材を使用とありますが、購入材の仕様(切り込み砕石、ずりなど)をご教示願います。	共通仕様書2-7-2「材料」に示すとおりです。
3	特-(1) 地盤改良工 中層混合処理	特記仕様書24-6-2「種別」で、改良材の標準添加量が100kg/m ³ とあり、設計改良量57,120m ³ 、設計改良材5,120tとなっていて、割増率を見込んでいないようですが、ロス分は設計変更の対象と見込んでよろしいでしょうか。 また、施工に使用する工事用水の取水にかかる設備費、もしくは井戸設置の費用・水道料金等、設計変更の対象と見込んでよろしいでしょうか。ご教示願います。	地盤改良工のロス分および施工に使用する工事用水の取水にかかる設備費、井戸設置の費用・水道料金等については、特記仕様書24-6-6に示す本工事を完成するために必要なすべての費用に含まれますので、設計変更の対象とはなりません。
4	特-(3) 遮水壁工 A	特記仕様書24-8「遮水壁工」で、可とう鋼矢板を中古品と記載してありますが、市場には中古品はありません。 積算は新品の値段でよろしいでしょうか。ご教示願います。 また、鋼矢板の打設工法及び、可とう鋼矢板の図面及び仕様をご教示願います。	特記仕様書24-8-2に誤りがありました。 可とう鋼矢板については、新品・中古品の指定はございません。 上記については、交付図書を訂正いたします。
5	18-(18) 六価クロム溶出試験 A 特記仕様書17-4「六価クロム溶出試験」で、設計数量が29検体とありますが、その数量の根拠をご教示願います。	特記仕様書17-4「六価クロム溶出試験」で、設計数量が29検体とありますが、その数量の根拠をご教示願います。	土工施工管理要領 参考X(Ⅱ)4-1「現場施工後の確認試験の頻度」に基づき地盤改良工 中層混合処理57,120m ³ を2,000m ³ 毎に試験するため、57,120÷2,000≒29検体となります。